

2025 年 4 月 3 日修正

J A 共済杯第 13 回インターミディエット

全日本リトルリーグ野球選手権大会

大 会 要 項

名 称	J A 共済杯第 13 回インターミディエット全日本リトルリーグ野球選手権大会
主 催	公益財団法人 日本リトルリーグ野球協会
主 管	NP0 法人リトルリーグ東関東連盟
後 援	三井物産 産経新聞 サンケイスポーツ フジテレビジョン 茨城県・茨城県教育委員会・牛久市・牛久市教育委員会
特別 協賛	J A 共済
協 賛	すかいらくホールディングス
協 力	ミズノ ローリングス・ジャパン L L C ペんてる 日本航空 日新航空 サービス 共同写真企画 フォトクリエイト
開 催 日	2025 年 5 月 9 日 (金)・10 日 (土)・11 日 (日)
会 場	(第 1 会場) 牛久運動公園野球場 (牛久市下根町 1400 番地) (第 2 会場) 晴天スタジアム美浦 (茨城県稲敷郡美浦村受領 1470) (第 3 会場) ナスパ・スタジアム (成田市一坪田 410 番地 1) ※ナスパ・スタジアムが 10 日雨天順延の時は茨城リーグ牛久スラッガーズ 野口グラウンド＝茨城県つくば市谷田部 4458＝に変更
日 程	5 月 9 日 (金) 開 会 式 16 : 00～ 第 1 球場で実施 集合 14:00 ※雨天の場合は開会式中止 5 月 10 日 (土) 大会 1 日目 予選リーグ 9 : 30～ 第 1 ～第 3 各球場でそれぞれ開始 5 月 11 日 (日) 大会 2 日目 決勝トーナメント : 準決勝 9 : 30～ 第 1 会場 第 2 会場 決 勝 13 : 00～ 第 1 会場 閉会式 決勝が終了次第 (この項細部時刻は暫定)
予 備 日	5 月 16 日 (土)・17 日 (日)
出場リーグ	2025 年度インターミディエット部門の国際登録済リーグのトーナメントチ ーム及び日本協会承認された同 3 リーグ以内での連合トーナメントチ ームで、各連盟で「JA 共済杯」連盟予選大会 (トーナメントもしくはレギュ ラーシーズンゲームとして) を実施し、代表となったリーグと主管連盟の 1 代表を加えた 9 リーグとする。 優勝リーグは日本代表として 2025 年アジア太平洋中東選手権大会インター ミディエット部門 (6 月 15—22 日、チャイニーズ・タイペイ 新台北市な ど) への出場権を得る。さらに同大会で優勝した場合、ワールドシリーズ (7 月 27 日～8 月 3 日、米国カリフォルニア州リバモア) への出場権を得 る。
参加 資格	参加選手は 2025 年度トーナメント大会参加資格規定に適合した者に限る。 (注) リトルリーグ年齢 : 11 歳から 13 歳 生年月日 : 2011 年 9 月 1 日から 2014 年 8 月 31 日まで
試合 規則	2025 年リトルリーグ・トーナメントルール(インターミディエット＝50-70 ＝部門) ならびに公認野球規則を準用する。主な規則と留意点は別紙の通り。

試合形式	出場9リーグを3リーグずつに分けてのリーグ戦とし、各ブロック1位リーグと2位リーグの最高成績1リーグ(4リーグ)によるノックアウト方式の決勝トーナメント(準決勝、決勝)により優勝を決定する。 リーグ戦は7イニング打ち切り、決勝トーナメント戦(7イニング制)で同点の場合は8回まで延長戦を行い、9回以降はタイブレークを採用する。 コールド試合は全試合4回15点差、5回以降は10点差規定を適用する。
登録	リーグの構成は選手14名以内、監督1名、コーチ2名の計17名以内とする。 単独リーグによるトーナメントチームおよび3リーグ以内の選手で構成された連合のトーナメントチームはいずれも所定の選手登録書等に必要事項を記載し、日本協会に提出して承認を得なければならない。
審判	日本協会は、審判員を必要に応じて各連盟理事長宛に派遣の依頼をする。 各連盟理事長は、自連盟審判部長と協議して派遣する審判員を招集し日本協会に通知する。
費用	本大会に出場する代表リーグの宿泊及び経費は次の通りとする。 (1) 代表リーグの登録された選手、指導者計17人以内の宿泊などは主管連盟指定の代理店で予約することができる。 (2) 昼食、夕食は各リーグの負担とし、主管連盟指定の旅行代理店で予約することができる。 (3) 出場リーグの交通費は支給しない。ただし、遠隔地連盟(九州)の代表には最寄り駅間のJR片道運賃を日本協会が補助する (4) アジア太平洋中東選手権大会、ワールドシリーズに出場する日本代表の国内移動費、渡航関連経費(パスポート、旅行保険、ESTA、PCR検査等)はリーグ負担とする
表彰規定	表彰は下記の各項を授与する。 (1) 優勝リーグには賞状、優勝トロフィー、メダル、記念ボール (2) 準優勝リーグには賞状、メダル、記念ボール (3) 3位リーグには賞状、メダル
運営協力	代表リーグは当該試合のアナウンサー2人派遣、及び試合前後のグラウンド整備5人以上を派遣し協力する。グラウンド整備に人数が揃えられない場合はあらかじめ主管連盟へ連絡すること。参加各リーグはリーグ旗、リーグプラカード(白地に黒または青文字)を持参する。連盟大会の優勝旗は不要。
リーグ管理	参加リーグは、必ず会長または会長を代行する責任者(監督、コーチ以外)が引率し、大会期間中、選手のすべての行動及びリーグ関係者の応援等について全責任を持ち、リーグの管理をしなければならない。
健康管理	医師の健康証明書によって健康が保証された選手でも、本大会に参加してから疾病等の理由で大会実行委員会がその選手の試合出場を不適当と判断した場合は出場できない。前記のような選手が多発してチームが構成できない場合は、その試合を中止して相手リーグに勝利を与える。 感染症感染拡大防止の対応は別途送付の説明書を参照。
傷害処置	主催者は大会参加の選手、指導者に対する傷害及び損害保険に加入する。 大会中、不慮の負傷疾病等に対して、主催者は応急の手当てを施す。又、役員及び選手は、健康保険証(コピー)を必ず持参しなければならない。
問い合わせ	代表者会議は開かない。問い合わせは事前に文書(メール添付可)で日本協会または主管連盟各事務局に提出するものとする。
その他	大会中、不測の事態が発生したときは主催者と当該者の間で速やかに措置するものとする。